

2013年3月期第3四半期連結決算報告(2012年4月1日～12月31日)

- 主要市場の低調を反映した業績
- 欧州を中心に引き続き厳しい市場環境
- リストラクチャリング施策および生産性改善により徐々に収益改善
- 短期的な戦略としては、収益性の改善に注力。付加価値製品は、長期的な成長計画の鍵

主要市場の低調を反映した業績

- グループ売上は3,850億円(前年同期4,208億円)。前年比9%減収だが、為替変動を除くと5%の減収
- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は47億円(前年同期120億円)。特に欧州の厳しい市場環境を反映
- 建築用ガラス事業は、売上1,623億円(前年同期1,868億円)、営業損失14億円(前年同期営業利益88億円)
- 自動車用ガラス事業は、売上1,769億円(前年同期1,872億円)、営業利益27億円(前年同期営業利益32億円)
- 高機能ガラス事業は、売上448億円(前年同期457億円)、営業利益45億円(前年同期営業利益55億円)
- 個別開示項目費用は211億円。リストラクチャリング費用(141億円)と有形固定資産等の減損損失(69億円)を含む
- 通期業績見直しは変更なし

欧州を中心に引き続き厳しい市場環境

- 欧州の自動車用および建築用ガラスは引き続き厳しい市場環境
- 日本の建築用ガラス市場は徐々に回復、自動車用ガラス市場は当第3四半期に軟化
- 北米市場では自動車用および建築用ガラスが引き続き回復
- 高機能ガラス市場はおおむね堅調だが、グラスコードおよびプリンター部材の需要は軟化
- ソーラー用ガラスの数量は当第3四半期に減少し、9か月累積数量も前年度を大きく下回る
- 持分法適用会社も厳しい建築用ガラス市場の影響を受ける

リストラクチャリング施策および生産性改善により徐々に収益改善

- リストラクチャリングによる収益改善は計画通り発現
- 生産能力の削減、間接費用削減、生産性改善をリストラクチャリングの主要項目として注力
- 欧州の自動車用ガラス加工2拠点の閉鎖提案を2012年10月26日に発表
- 欧州でのフロートライン2基の閉鎖提案を2012年11月8日に発表
- UKのフロートガラス生産能力の一時的な削減提案を2012年12月14日に発表
- 人員の削減:2012年12月末までに2,350人をすでに削減

短期的な戦略としては、収益性の改善に注力。付加価値製品は、長期的な成長計画の鍵

- 明確な実行計画とこれによる財務状況および業績の改善
- 固定費圧縮により将来市場変動にも柔軟に対応できる強靱な企業体質を構築
- 長期的な成長機会が明確であり、付加価値製品分野に重点を置く

連結損益計算書



(億円)	13年3月期 4月-12月期	12年3月期 4月-12月期	前年比
売上高	3,850	4,208	-9%**
無形資産償却前営業利益	47	120	
償却費*	(50)	(55)	
個別開示項目前営業利益(損失)	(3)	65	
個別開示項目	(211)	-	
営業利益(損失)	(214)	65	
金融費用(純額)	(104)	(104)	
持分法による投資利益	10	52	
税引前利益(損失)	(308)	13	
当期利益(損失)	(316)	22	
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	(321)	13	
EBITDA	261	356	-27%

*ビルギントン買収に伴って発生した無形資産の償却
**為替変動を除くと-5%

厳しい市場環境が引き続き業績に影響

2013年1月31日 | 2013年3月期第3四半期決算報告